

衆議院小選挙区選出議員選挙(大分県第 区)
選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名				
連絡責任者	氏名			
	住所	市	町	番地
		郡	村	
	電話	()		



**国を動かす
大分の力、
充実!**

昭和16年生まれ、山奥の農家で育つ。10才、厳しい山村の暮らしの中で「政治家になって村のくらしを守る」と決意。高校は2年間休学し、炭焼きや椎茸栽培に励む。自活しながら早稲田大学で政治学を学ぶ。

- 早稲田大学政経学部卒
- 早稲田大学大学院修了
- 玖珠町長(当時全国最年少、29才)
- 参議院議員(36才)。衆議院議員(42才)以後13期連続当選

国会では

- 衆議院副議長
- 国務大臣防衛庁長官
- 外務副大臣
- 農林水産政務次官・予算委員長・大蔵委員長・決算委員長 他を歴任

現在、憲法改正推進議員連盟会長
海事振興議員連盟会長

漁港・漁場・漁村整備推進議員連盟会長、カナダ、スイス、オランダ等10数ヶ国の友好議員連盟会長はじめ、超党派の多数の議員連盟会長を務める

国会の最前線で取り組んでいます。自民党公認 公明党 推せん

経済・外交・防衛・地方のくらし
皆様とともに、大分の発言力・大分の表現力を積み上げてきました。

◎戦争のない国、世界平和を守るために
☆憲法を改正して自衛隊および緊急事態事項を明記
☆日米地位協定の見直しを急務
領土領海問題をはじめ不安定化する世界を見据え、国と世界の平和を守るために、安全保障法制の整備、自由と民主の価値観を共有する国々との連携強化が必要です。世界各国の議員と、積極的な議員外交を推し進めています。

☆拉致被害者帰国——総理大臣みずから訪朝の道筋を

◎農林水産業の持続的発展
☆漁港・漁場・漁村整備推進議員連盟会長を務め、振興策の先頭に立っています。

☆農家を守るために、生産者米価への政府の関与・中山間地域所得直接支払い制度の拡充・飼料・肥料・農業資材価格の高騰対策を石破総理に要請しています。

◎成長型経済 賃金引き上げと投資がけん引する
最低賃金引き上げには雇用主への財政支援・税制の改善が必要です。

◎災害対応力強化——豪雨災害・南海トラフ地震
被災地の復旧復興 被災者救済 防災・減災事業 国土強靱化

◎東九州高速道の四車線化、中九州道、日田中津道の整備促進
(高速道路建設推進議員連盟会長)

◎九州四国海底トンネルの実現で、大分を九州の表玄関に
(九州四国海底トンネル建設推進議員連盟会長)

◎海洋国家日本の海事振興(海事振興議員連盟会長)

◎誰も取り残されないデジタル社会
デジタル化が急速に進む中、高齢化率3割の日本、あまりにも世代間格差が広がっています。高齢者の視線・立場に立った対応が必要です。

農村に育った少年時代、村の暮らしをよくしたい!と政治家を志し、29才の町長就任から今日まで、政治一筋に進んで来ました。今、国民の10%は戦争体験者ですが、国会の99%の議員は、戦争体験がありません。戦時下と復興を肌身で体験した一人として、国会に立つ使命を重く受け止めています。

派閥による政治資金問題は、深刻な政治不信を招いています。私自身の関係団体につきましても、不適切な事務処理に至りましたことを、深く反省し心よりお詫び申し上げます。深く反省のもと、政治資金の法制について、徹底した改正が必要です。深い反省の上に立ち、地方に軸足を置き、世界の中の日本を見据えて、皆さまとともに積み上げて来た政治力を活かして、国政に挑んで参ります。



子育て支援 高齢者に優しく

中津・日田道路 九州自動車道全線開通

中九州道熊本へ

自由民主党公認(大分2区)
衛 藤 せいしろう
せいしろう 征士郎

※欄は記入しないでください

※受付日時	※受付番号	※受付者

大分県選挙管理委員会